



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月25日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2491 URL <http://www.valuecommerce.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 最高経営責任者 (氏名) 飯塚 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 最高財務責任者 (氏名) 土田 圭滋 TEL 03-4590-3600
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	8,855	29.9	1,018	51.2	1,161	48.0	750	63.2
24年12月期第3四半期	6,819	20.9	673	10.4	784	18.3	459	28.5

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 763百万円 (66.1%) 24年12月期第3四半期 459百万円 (30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	22.63	22.52
24年12月期第3四半期	12.14	12.11

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	8,216	4,722	57.3	141.88
24年12月期	7,236	4,149	57.3	125.23

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 4,706百万円 24年12月期 4,149百万円

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	450.00	—	650.00	1,100.00
25年12月期	—	600.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	6.50	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成24年12月期期末配当金の内訳 普通配当 550円00銭 記念配当 100円00銭

3. 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割（第一株式分割）、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割（第二株式分割）を行っております。平成25年12月期第2四半期末配当については、第一株式分割及び第二株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

4. 平成25年12月期期末配当予想については、第一株式分割及び第二株式分割後の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	23.1	1,340	48.1	1,530	44.7	1,000	59.9	30.17

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	34,471,000株	24年12月期	38,664,000株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	1,301,000株	24年12月期	5,534,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	33,136,799株	24年12月期3Q	37,855,000株

（注）当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年10月28日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、アベノミクスによる昨年からの株高・円安を受けて消費者マインドが大幅に改善し、個人消費が増加するなど景況感の改善がみられます。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、8,855,861千円（前年同四半期比29.9%増）となり、増収を確保いたしました。営業利益は、1,018,303千円（前年同四半期比51.2%増）となり、経常利益は、持分法による投資利益計上により1,161,373千円（前年同四半期比48.0%増）となりました。その結果、四半期純利益は、750,002千円（前年同四半期比63.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①アフィリエイトマーケティングサービス事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、主に金融や旅行、ショッピング分野の成果報酬型広告出稿が堅調であったため、セグメント売上高は8,063,449千円（前年同四半期比37.4%増）、セグメント利益は1,245,616千円（前年同四半期比38.3%増）となりました。

②ストアマッチサービス事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、マルチデバイス経由の売上最大化に向け掲載企画を進行中ではありますが、デバイス環境の変化が早く、売上が減少いたしました。セグメント売上高は792,412千円（前年同四半期比16.7%減）、セグメント利益は41,764千円（前年同四半期比53.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,216,633千円となり、前連結会計年度末と比べて980,293千円増加いたしました。

流動資産は7,070,598千円となり、前連結会計年度末と比べて689,793千円増加いたしました。これは、主に売掛金が404,876千円、現金及び預金が216,932千円増加したことによるものです。

固定資産は1,146,035千円となり、前連結会計年度末と比べて290,499千円増加いたしました。これは、主に投資有価証券が240,472千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,493,906千円となり、前連結会計年度末と比べて406,594千円増加いたしました。

流動負債は3,352,200千円となり、前連結会計年度末と比べて420,040千円増加いたしました。これは、主に買掛金が474,225千円増加したことによるものです。

固定負債は141,705千円となり、前連結会計年度末と比べて13,445千円減少いたしました。これは、主に長期預り保証金が12,311千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,722,727千円となり、前連結会計年度末と比べて573,698千円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により207,086千円減少したものの、四半期純利益の計上により750,002千円増加したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,343,418千円となり、前連結会計年度末と比べて216,932千円増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は675,264千円（前年同四半期は485,524千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が1,161,373千円であり、プラス要因として、仕入債務の増加額が474,225千円であった一方で、マイナス要因として、法人税等の支払額が430,092千円、売上債権の増加額が404,746千円、未収入金の増加額が117,940千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は256,467千円（前年同四半期は123,429千円の使用）となりました。これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出がそれぞれ18,382千円、124,534千円、投資有価証券の取得による支出が113,550千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は202,049千円（前年同四半期は940,136千円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が204,746千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年7月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成25年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,126,485	4,343,418
売掛金	1,306,455	1,711,331
繰延税金資産	77,071	34,516
未収入金	830,799	948,740
その他	42,306	34,879
貸倒引当金	△2,313	△2,288
流動資産合計	6,380,804	7,070,598
固定資産		
有形固定資産		
建物付属設備(純額)	46,524	40,739
工具、器具及び備品(純額)	49,411	43,882
リース資産(純額)	6,436	5,293
有形固定資産合計	102,371	89,915
無形固定資産		
ソフトウェア	165,584	254,836
ソフトウェア仮勘定	82,036	65,127
その他	1,172	1,172
無形固定資産合計	248,793	321,136
投資その他の資産		
投資有価証券	331,049	571,521
繰延税金資産	67,801	55,732
その他	105,649	107,730
貸倒引当金	△130	△0
投資その他の資産合計	504,370	734,983
固定資産合計	855,535	1,146,035
資産合計	7,236,339	8,216,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,097,330	1,571,556
未払金	1,425,089	1,431,826
未払法人税等	239,324	172,000
その他	170,415	176,817
流動負債合計	2,932,160	3,352,200
固定負債		
長期預り保証金	148,282	135,971
その他	6,868	5,731
固定負債合計	155,151	141,705
負債合計	3,087,311	3,493,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,728,116	1,728,266
資本剰余金	1,083,648	1,083,798
利益剰余金	2,226,820	2,090,065
自己株式	△889,481	△209,110
株主資本合計	4,149,104	4,693,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	13,513
為替換算調整勘定	△76	△294
その他の包括利益累計額合計	△76	13,218
新株予約権	—	16,488
純資産合計	4,149,028	4,722,727
負債純資産合計	7,236,339	8,216,633

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,819,765	8,855,861
売上原価	4,283,518	6,008,731
売上総利益	2,536,246	2,847,130
販売費及び一般管理費	1,862,596	1,828,826
営業利益	673,650	1,018,303
営業外収益		
持分法による投資利益	98,136	155,440
その他	19,104	6,504
営業外収益合計	117,240	161,944
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	17,014
その他	5,989	1,859
営業外費用合計	5,989	18,871
経常利益	784,901	1,161,373
特別損失		
開発拠点閉鎖費用	53,916	—
その他	3,065	—
特別損失合計	56,982	—
税金等調整前四半期純利益	727,919	1,161,373
法人税、住民税及び事業税	231,161	364,449
法人税等調整額	37,331	46,922
法人税等合計	268,493	411,371
少数株主損益調整前四半期純利益	459,426	750,002
四半期純利益	459,426	750,002
少数株主損益調整前四半期純利益	459,426	750,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	13,513
為替換算調整勘定	206	△218
その他の包括利益合計	206	13,294
四半期包括利益	459,632	763,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	459,632	763,296
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	727,919	1,161,373
減価償却費	78,335	77,687
株式報酬費用	—	13,656
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△394	△154
受取利息	△778	△716
支払利息	239	196
為替差損益 (△は益)	△36	△185
持分法による投資損益 (△は益)	△98,136	△155,440
子会社整理損	3,065	—
開発拠点閉鎖費用	53,916	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	17,014
売上債権の増減額 (△は増加)	△128,407	△404,746
仕入債務の増減額 (△は減少)	192,956	474,225
未収入金の増減額 (△は増加)	11,045	△117,940
未払金の増減額 (△は減少)	27,046	8,593
預り金の増減額 (△は減少)	4,055	△31,599
預り保証金の増減額 (△は減少)	△15,810	△12,311
その他	67,242	42,684
小計	922,259	1,072,336
利息及び配当金の受取額	25,778	33,216
利息の支払額	△239	△196
法人税等の支払額	△389,969	△430,092
開発拠点閉鎖費用の支払額	△72,305	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	485,524	675,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,946	△18,382
無形固定資産の取得による支出	△108,123	△124,534
投資有価証券の取得による支出	—	△113,550
貸付金の回収による収入	1,081	—
子会社の清算による支出	△3,441	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,429	△256,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	600	300
自己株式の処分による収入	—	700
自己株式の取得による支出	△718,410	—
配当金の支払額	△221,567	△204,746
その他	△758	1,697
財務活動によるキャッシュ・フロー	△940,136	△202,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△578,008	216,932
現金及び現金同等物の期首残高	4,487,898	4,126,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,909,890	4,343,418

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年8月7日開催の取締役会決議に基づき、平成25年8月31日付で、自己株式2,102,500株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ675,870千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が2,090,065千円、自己株式が209,110千円となっております。

(6) セグメント情報等

I. 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	アフィリエイト マーケティング サービス事業	ストアマッチ サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,868,636	951,128	6,819,765	—	6,819,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,868,636	951,128	6,819,765	—	6,819,765
セグメント利益	900,716	90,314	991,030	△317,380	673,650

(注) 1. セグメント利益の調整額△317,380千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	アフィリエイト マーケティング サービス事業	ストアマッチ サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,063,449	792,412	8,855,861	—	8,855,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,063,449	792,412	8,855,861	—	8,855,861
セグメント利益	1,245,616	41,764	1,287,380	△269,077	1,018,303

(注) 1. セグメント利益の調整額△269,077千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。